

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		学校教育課
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	1	子どもの豊かな自己実現力（生きる力）をはぐくんでいるまち
④ 施策分野の将来像	1	「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をかぐくんでいる
⑤ 基本施策	1	学校教育の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

今後の学校教育の充実に向けては、次期学習指導要領を踏まえた指導の実践が喫緊の課題となっているため、今まで以上に教職員の研修や授業研究の充実が必要となる。平成30年度からは、葉山町の学びづくり推進事業に加え、「かながわ学びづくり研修推進事業」を受託し、各校において有識者等の招聘や県から指導主事を派遣していただくことで、教職員の研修を機会増やし、授業力向上に取り組みやすい教育環境を整備することができた。これらの事業を活用して、子どもたちに生きる力のさらなる育成を進めていきたい。また、開かれた学校づくりに向けて、地域との協働の機会を増やすとともに、家庭や地域の方々が学校運営に参加できるしくみとして、学校運営協議会制度の導入（コミュニティ・スクール）を検討する。

なお、教育委員会では、平成29年5月に第二次葉山町教育総合プランを策定し、総合計画基本改革の「基本施策がめざす姿」や「まちづくり指標」、「単位施策」に“相当”する目標や基本施策を整理し、学校教育に係る課題の解決を図っている。その点で、懸案となっている様々な問題についても解決へ着手しつつあると評価できる。地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、総合計画の振り返りに相当する「点検・評価」を教育委員会に義務付けていることから、学校教育施策においては、「点検・評価」と総合計画の整合性を図りたい。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
学校生活及び教育環境の満足度	—	—	90%	学校生活（各教科等の学習内容、行事、部活動、体験的活動の充実、生活全般）のソフト面と教育環境（学校施設設備、教材教具等）のハード面の双方を総合的にとらえ、目指そう値とするには、基本施策の進捗を表すものとしてふさわしくない。指標そのものから再考する必要がある。
地域と連携活動数	12回	21回	20回	今後、益々地域との連携が重要となるが、連携した回数増加を目指すよりも、質的な向上、有機的な連携に力を入れていく必要がある。目指そう値は、平成30年度の実践を踏まえて20回とし、質的改善を図っていく。

〔単位施策の達成状況〕

1-01	教育内容の充実	
達成状況	進んでいる	<p>新学習指導要領の内容を踏まえた研修会等を設置し、教職員の授業力向上に資する取り組みを実施した。また、葉山町学びづくり研究推進事業を通して、有識者等を招聘しながら、各校の校内研修の活性化を図るとともに、拠点校における研究発表会を通して、研究成果を町内へ発信することができた。今後も、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、校内研修や町主催研修、研究発表会の充実を図っていく。</p>
1-02	教育環境の整備	
達成状況	/	
1-03	特別支援教育の充実	
達成状況	進んでいる	<p>様々な障害や特性のある児童・生徒に対応できるよう、教材の工夫や、授業において明確に「ねらい」を提示したり、授業の流れを視覚化するなど、各学校においてユニバーサルデザインを意識した取り組みが実践された。今後も様々な場面でユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、全ての児童・生徒にとって分かりやすい授業や教育環境づくりに取り組んでいく。</p>
1-04	開かれた学校づくりの推進	
達成状況	進んでいる	<p>保護者・地域との連携において積極的な情報発信を行うため、各学校が発出する学校便りやHP等で、タイムリーな情報発信を行うことができた。また、学校が地域住民や保護者と教育目標を共有し、組織的・継続的な連携を可能とする法律に基づいた仕組みである「学校運営協議会制度」の導入に向けた会議体を令和元年度に設置し、検討を開始した。今後も葉山らしい学校と地域の連携の在り方について検討を進めていく。</p>

〔協働でできることの進捗〕

- ・各学校において実施された学校評議員連絡会や教育懇話会において、学校運営に係る進捗状況や課題等について協議を行い、次年度の方針に活かすことができた。
- ・各学区において実施する教育懇話会を小中合同で実施(南郷中学区)することができた。
- ・地域人材や教育資源を活用した総合的な学習の時間の学習や学校行事を実施することができた。
- ・町の防災安全課と連携し、全小・中学校区に避難所運営委員会が設置された。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		教育総務課
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	1	子どもの豊かな自己実現力（生きる力）をはぐくんでいるまち
④ 施策分野の将来像	1	「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をはぐくんでいる
⑤ 基本施策	1	学校教育の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

教育委員会では、平成29年5月に第二次葉山町教育総合プランを策定し、総合計画基本計画の「基本施策がめざす姿」や「まちづくり指標」、「単位施策」に“相当”する目標や基本施策を整理し、学校教育に係る課題の解決を図っている。その点で、懸案となっている様々な問題についても解決へ着手しつつあると評価できる。

一方、第2期基本計画の策定に向けては、総合計画と教育総合プランの整合を図る必要が生じている。

なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、総合計画の振り返りに相当する「点検・評価」を教育委員会に義務付けている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
学校生活及び教育環境の満足度	—		90%	
地域と連携活動数	12回		20回	

〔単位施策の達成状況〕

1-01	教育内容の充実	
達成状況		
1-02	教育環境の整備	
達成状況	進んでいる	<p>単位施策は4つあるが、教育総合プランでは7つに整理している。 達成状況としては、学校施設の耐震化のように着実に達成されているものもあるが、単位施策に記載がない施策の実施や、逆に記載があるにも関わらずそもそも実施の予定がない施策が散見する。達成状況(実績・評価)の前に、基本計画を見直す必要がある。</p>
1-03		
達成状況		
1-04	開かれた学校づくりの推進	
達成状況		

〔協働でできることの進捗〕

--	--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		生涯学習課
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	2	だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	2	いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤ 基本施策	2	生涯学習の振興

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

様々な場や機会において行う学習活動である生涯学習の推進を図るために、町民のニーズに応じた生涯学習プログラムの実施、社会教育関係団体への助成、生涯学習情報の提供などに取り組んでいるが、多様なニーズに応える体系的な生涯学習施策の実現を図るには、生涯学習・町民活動に関する窓口の一元化など、庁内での連携の強化を図っている。

なお、教育委員会では、平成29年5月に第二次葉山町教育総合プランを策定し、生涯学習施策について目標や基本施策を整理しており、総合計画との整合を図る必要が生じている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
生涯学習登録団体数	65	101	70	
ジュニアリーダーズクラブの活動回数	22	59	30	ジュニアリーダーズクラブの活動が多くの団体に認知され活動が活発になっている。
青少年育成事業の定員に対する参加者の割合	77.4%	107.60%	100%	

〔単位施策の達成状況〕

2-01	生涯学習活動の支援	
達成状況	進んでいる	公民館教室では、個人の生涯学習活動に重点をおく講座が中心となっているが、マネープラン・ライフプラン講座など現代的な課題や地域の課題の解決を目指す講座の実施に努めている。
2-02	生涯学習の場の確保	
達成状況	進んでいる	学校施設や図書館附属施設を開放し、生涯学習の場を提供している。現在の施設開放数の維持に努める必要があるが、既存施設の老朽化が課題となっており、令和2年度より上山口小学校旧校舎の開放を中止する。
2-03	青少年健全育成の推進	
達成状況	達成した	<p>青少年の健全育成は、自然の中での活動や体験活動を通し、また、そうした活動の中で多くの人とコミュニケーションをとる事で、さまざまな事を「感じ」、「考え」、豊かな心と丈夫な体が育まれると考える。</p> <p>町が実施する事業に青少年が参加する事で健全育成が図られるため、個々の価値観や多様化したライフスタイルの中で如何にして参加してもらうか、その時代や世代のニーズに合った魅力ある事業を引き続き展開する。</p>

〔協働でできることの進捗〕

生涯学習の振興を図るため、公民館教室の講師を社会教育関係団体から出してもらったり、関東学院大学との連携により町民大学を開催したりなど、協働による事業推進を図っている。

青少年健全育成においても、ジュニアリーダーズクラブをはじめとする各種団体の協力をいただきながら事業を実施しており、協働がなければ事業が成立しない状況である。

〈協働のまちづくり指針に示された「協働」の進捗〉

生涯学習を協働のまちづくりにつなげる新たな体制を目指す方向性は、教育総合プラン、協働のまちづくり指針において共有を図ったものの、以降進捗していない。生涯学習社会の実現と協働のまちづくりについて、庁内で一体的に検討する体制を構築し、町民の関心に応じた支援策を総合的・体系的に整備していく必要がある。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		生涯学習課（図書館）
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	2	だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	2	いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤ 基本施策	3	図書館サービスの充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

地域の情報拠点として、利用者の課題解決や読書活動に役立つ蔵書・資料の収集・整理・提供・保存を積極的に行い、読書困難な方が利用できる大型活字本の購入に努めた。また、来館者が利用できるインターネット環境を整備、図書館システムの更新を行った。町の読書活動推進の目標の達成に向け、引き続き乳幼児から学生、また保護者を対象とした読書啓発事業の充実を図っていく。

令和元年度に葉山町立図書館あり方検討委員会を設置した。2か年をかけて、今後の図書館のあり方について答申をもらう。

なお、教育委員会では、平成29年5月に第二次葉山町教育総合プランを策定し、生涯学習施策について目標や基本施策を整理しており、総合計画との整合を図る必要が生じている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
蔵書数	148,392冊	160,164冊	155,000冊	めざそう値の目標数字に達した。 図書館の書庫の蔵書収蔵可能数は160,000冊 指標設定を変更する必要がある
利用者数	136,592人	140,580人	140,000人	めざそう値の目標数字に達した。 目指そう値の数値変更が必要
インターネット予約件数	4,130件	6,419件	5,500件	めざそう値の目標数字に達した。 目指そう値の数値変更が必要

〔単位施策の達成状況〕

3-01	蔵書・資料の充実	
達成状況	進んでいる	利用者の多様なニーズに応えるため、引き続き、蔵書・資料の収集に努め、適切に整理、保存、活用を行い充実を図っていく。また、葉山の特色を活かした資料の収集に努める。「雑誌スポンサー制度」については、平成28年度開始時には2者5誌であったが、平成30分年度は6者11誌に増加した。
3-02	利用しやすい環境づくり	
達成状況	進んでいる	インターネットの利用に対応できるよう図書館業務の機能強化を図った。また、平成30年度8月に図書返却用ポストを役場庁舎玄関前に設置した。今後、本の返却に関し、ブランクエリアの利用者のために返却ポストの設置を行っていく。

〔協働でできることの進捗〕

町民の方のコレクションで図書館の展示を行い、積極的な参加を推進している。また、町民の協力を得て、読み終えた本、図書館で保存期間を経過した雑誌等を、リサイクル図書として再活用(無料配布)している。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		生涯学習課
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	2	だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	2	いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤ 基本施策	4	生涯スポーツ活動の推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

スポーツに求められる目的が多様化する中において、葉山町のスポーツに関する基本的な施策を総合的に推進するため、スポーツ推進計画の策定に向けた検討に着手している。また、スポーツ環境の充実と活動の促進を図るため、葉山町体育協会の事業運営支援やスポーツ推進委員を中心とした指導者の充実を図るとともに、様々な世代に向けたスポーツ事業の実施に努めている。学校体育施設や南郷上山公園など限られた公立体育施設の利便性の向上を図りながら、有効活用を図っていく必要がある。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピックのセーリング競技江の島開催を契機に、マリンスポーツをはじめとした各種スポーツ活動の振興に努めている。

なお、教育委員会では、平成29年5月に第二次葉山町教育総合プランを策定し、生涯学習施策について目標や基本施策を整理しており、総合計画との整合を図る必要が生じている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
体育施設稼働率	61.0%	65	75%	
少年少女スポーツ講座参加率	74.1%	87	100%	

〔単位施策の達成状況〕

4-01	取り組みやすい環境づくり	
達成状況	進んでいる	スポーツ推進計画の令和2年度策定に向け、スポーツ推進審議会を設置し、計画(案)の作成に向けた審議を行った。また、スポーツ体験講座や町民体力測定を通じて、様々な世代がスポーツに触れる機会を提供しているが、大人向けのスポーツ講座は参加者が伸び悩んでおり、日時や種目について見直しを行う必要がある。
4-02	競技スポーツの推進	
達成状況	進んでいる	補助を行っているヨットスクール事業では、全日本選手権等各種大会のほか、世界大会への出場を果たす等の成果を収めている。また、体育協会加盟協会等と協働し、各種競技スポーツの推進を図っている。
4-03	スポーツ環境の充実	
達成状況	進んでいる	学校体育施設や南郷上ノ山公園等の既存施設を有効活用し、利便性の向上に努めている。

〔協働でできることの進捗〕

体育協会や協会加盟の各種団体、スポーツ推進委員その他スポーツ関連団体や施設と連携し、競技大会の開催の支援や体験イベントの支援協力などを行い、さらなる発展を図っている。

〈協働のまちづくり指針に示された「協働」の進捗〉

2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、セーリング競技を身近に感じるイベント開催等については、生涯学習課と政策課が、それぞれの役割をふまえて、連携して取り組んでいる。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		生涯学習課
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	2	だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	2	いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤ 基本施策	5	芸術文化活動の振興

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

葉山町文化祭や葉山芸術祭など、町民が自主的に企画・運営する芸術・文化活動を支援し、世代間、地域間の交流が進んでいる。また、町所蔵美術展を年2回開催し、町民が芸術作品に身近に触れる機会を提供している。神奈川県立近代美術館葉山館、山口蓬春記念館と一層の連携を図りながら、優れた芸術・文化に親しむ機会の提供に努めていく必要がある。

町内の指定・登録文化財は、文化財所有者管理の原則のもと、適切な保護に努めているが、所有者の高齢化や世代交代が進み、所有者や行政だけでなく、社会全体で文化財をまもり、継承していく取り組みが課題となっている。文化財に関わる関係団体やボランティア等の、文化財の保存、活用に関する継続的な活動を支える仕組みづくりについて研究を進めていく必要がある。

なお、教育委員会では、平成29年5月に第二次葉山町教育総合プランを策定し、生涯学習施策について目標や基本施策を整理しており、総合計画との整合を図る必要が生じている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
町指定文化財件数	64件	65	67件	町内の指定・登録文化財件数 (町指定に限定せず、国・県の文化財保護制度による保護措置を講じた件数とするほうが実態に即している)
福祉文化会館の公演・発表会回数	70回		100回	
福祉文化会館の鑑賞人口率	39%		50%	

〔単位施策の達成状況〕

5-01	芸術文化活動の機会充実と活性化	
達成状況	進んでいる	町民が豊かな芸術・文化を身近に感じ、世代間や地域間の交流が進むように、葉山町文化祭を主催する葉山町文化協会や、葉山芸術祭を主催する芸術祭実行委員会に対して補助を行い、その活動を支援している。また、葉山町所蔵美術展を年2回開催し、町民が芸術作品に身近に触れる機会を提供している。
5-02	文化財の保存と活用	
達成状況	進んでいる	新たな文化財の指定が計画通りに進んでいないが、対象となる文化財の内容や条件に応じて、国の登録有形文化財(建造物)の登録を進めるなど、各種の制度を活用して文化財の保護に努める。長柄桜山古墳群の整備については、国の補助金が要望どおりつかず、工事の進捗が遅れているため、竣工時期の見直しを行った。

〔協働でできることの進捗〕

葉山町文化祭や葉山芸術祭については、それぞれの団体が企画・運営を行っており、町はそれらの活動を支援している。

町内の文化財関係団体やボランティアとの協働により、文化財の保護や啓発事業、パトロール事業を進めており、成果をあげている。一方で、高齢化や活動のマンネリ化などの理由により、参加者の減少傾向がみられ、課題となっている。

〈協働のまちづくり指針に示された「協働」の進捗〉

葉山町文化協会やNPO法人まちづくり協会加盟団体など、相互の情報交換や町行政との連絡調整が重要とあるが、文化協会は主に生涯学習課が、まちづくり協会は政策課が所管しており、庁内での連携に新たな進捗はみられない。生涯学習の振興と同様、庁内で一体的に検討する体制を構築し、体系的な芸術文化活動の支援策を整備していく必要がある。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		福祉課
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	2	だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	2	いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤ 基本施策	5	芸術文化活動の振興

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

芸術文化活動の振興に向けて、町共催の葉山町文化祭、町後援の葉山芸術祭等の事業の開催場所として、催し物を後援するほか、団体育成施策や支援事業に取り組んでおり、町内では様々な芸術文化活動が展開されています。これらの人材・団体のネットワーク化や、若い世代などの活動参加の促進、町外への葉山町の芸術文化のアピールなどが求められます。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
町指定文化財件数	64件		67件	
福祉文化会館の公演・発表会回数	70回	91回	100回	
福祉文化会館の鑑賞人口率	39%	45.3%	50%	

〔単位施策の達成状況〕

5-01	芸術文化活動の機会充実と活性化	
達成状況	進んでいる	25年度の福祉文化会館の公演・発表会回数現状値70回に対し30年度は91回と少しずつ増えていて、目標に向かって進んでいる。
5-02	文化財の保存と活用	
達成状況	/	

〔協働でできることの進捗〕

文化公演事業を開催するに当たり、葉山町文化協会等会館のホール等を利用する団体の役員等に助言・協力いただいておりますが、今後協働で催し物の開催や運営を検討したい。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	政策課
②	基本理念区分	1 人を育てる
③	基本目標	2 だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④	施策分野の将来像	2 いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤	基本施策	6 姉妹都市交流の推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

<p>草津町とは交流が盛んに行われているが、ホールドファストベイ市とは進んでいない。 町の国際化について記載している基本施策が無い。</p>
--

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
草津町が姉妹都市である ことの認知度	—	—	100%	
ホールドファストベイ市が 姉妹都市であることの認 知度	—	—	100%	

〔単位施策の達成状況〕

6-01	国内姉妹都市との交流活動の推進	
達成状況	進んでいる	<p>草津町とは冬には葉山町からスキー教室として草津を訪れ、夏は水泳教室として草津町からは山町へ訪れる相互交流を行うとともに、各種団体も民間レベルで交流を行っている。</p> <p>平成30年度に姉妹都市締結50周年を向かえ、両町の恒久的な友好親善を将来にわたって進展させることを宣誓するとともに、記念式典や記念イベントを実施した。</p>
6-02	国際姉妹都市との交流活動の推進	
達成状況	進んでいない	<p>ホールドファストベイ市とは学生の相互交流を行っていたが、現在では行政同士の書簡の往復のみとなっている。</p>

〔協働でできることの進捗〕

草津町との姉妹都市交流において、文化・スポーツ団体など民間団体同士の交流が円滑に行われるよう支援を行っている。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		生涯学習課
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	2	だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	2	いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤ 基本施策	7	人権と平和の尊重

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

人権啓発・教育講演会等を関係機関との共催により実施することで、関心を引く映画上映や講演会など、単独開催に比べ高い啓発効果が得られている。

なお、教育委員会では、平成29年5月に第二次葉山町教育総合プランを策定し、生涯学習施策について目標や基本施策を整理しており、総合計画との整合を図る必要が生じている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
人権講演会の参加人数	29人	42	40人	
DV(配偶者暴力)の認識度	—		100%	
平和標語コンクール (中学生対象)の応募点数	28点		45点	

〔単位施策の達成状況〕

7-01	人権尊重社会の形成	
達成状況	進んでいる	人権週間に合わせて、全国中学生人権作文コンテスト神奈川県大会(横須賀地区)で入賞した方の作文と人権ポスター及び、関係図書の展示による「葉山町人権展」を図書館ロビーで実施し、人権に関する関心を引くよう努めている。
7-02	男女共同参画の推進	
達成状況	/	
7-03	平和意識の普及・啓発	
達成状況	/	

〔協働でできることの進捗〕

町長部局や逗子市と連携を図りながら、人権に関する学習機会の場の確保に努めている。	
--	--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		町民健康課
② 基本理念区分	1	人を育てる
③ 基本目標	2	だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	2	いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤ 基本施策	7	人権と平和の尊重

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

人権については何をもって解決したかを判断するのが難しいが、講演会や講座等を継続して行っており、町民の人権に対する意識向上に繋がっていると思われる。今後も引き続き啓発事業を行っていく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
人権講演会の参加人数	29人	—	40人	人権講演会という名で様々な講演会を実施しており、当初、何の講演会を指標としたか不明。
DV(配偶者暴力)の認識度	—	—	100%	
平和標語コンクール (中学生対象)の応募点数	28点		45点	

〔単位施策の達成状況〕

7-01	人権尊重社会の形成	
達成状況	進んでいる	講演会や講座等の開催や人権擁護委員と一緒に小中学校において啓発活動を行い、啓発事業を継続的に実施できている。
7-02	男女共同参画の推進	
達成状況	進んでいる	男女共同参画推進のため啓発講座を年1回開催している。DV対策については、県担当課・福祉事務所・警察・町の関係部署(町民健康・福祉・子ども育成・学校教育)との会議が年に1回行われており(福祉事務所主催)連携しやすい環境となっている。
7-03	平和意識の普及・啓発	
達成状況		

〔協働でできることの進捗〕

人権・男女共同参画に関する講座を町民向けに開催している。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	政策課
②	基本理念区分	1 人を育てる
③	基本目標	2 だれもがいつでも学べ、交流し、心身ともに豊かに暮らしているまち
④	施策分野の将来像	2 いつでも学べる場と機会があり、感情を豊かにする環境が整っている
⑤	基本施策	7 人権と平和の尊重

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

平和に暮らしている現代だが、その背景の歴史などを子ども達に考えてもらい、平和の大切さを知ってもらうための啓発事業を実施している。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
人権講演会の参加人数	29人		40人	
DV(配偶者暴力)の認識度	—		100%	
平和標語コンクール (中学生対象)の応募点数	28点	808点	45点	

〔単位施策の達成状況〕

7-01	人権尊重社会の形成	
達成状況		
7-02	男女共同参画の推進	
達成状況		
7-03	平和意識の普及・啓発	
達成状況	進んでいる	平和標語コンクールの応募者が急激に増えている。また、平和講演会や平和バスツアーも創意工夫を行いながら開催している。

〔協働でできることの進捗〕

非核平和に関して学ぶ機会を子ども達に提供するとともに、講演会の開催により町民への啓発を行った。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	子ども育成課
②	基本理念区分	1 人を育てる
③	基本目標	3 子どもが健やかに育ち、安心して子育てができているまち
④	施策分野の将来像	3 子育てを地域のみんなで支える中で、子どもがのびのびと育っている
⑤	基本施策	8 子ども・子育て支援の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

町には認可保育所が4園、小規模保育施設が2園あるが保育ニーズの増加等に対応ができておらず、待機児童の解消はできていない。今後、待機児童解消のために、認可保育所や認定こども園の新設に向けて民間運営者との協議を進めている。また、子育て支援センターで地域における子育て家庭の問題の解決に向けた相談事業の強化等により地域の子育てを支援するための強化に努めている。

たんぽぽ教室において、発達等に不安のある子どもへの療育等を行う場を提供している。さらに、保健・医療・福祉・教育などが連携し一貫した相談・支援を行う「葉山町発達支援システム」の中で具体的な支援や連携をしている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
認可保育園数	2か所	4か所	6か所	
子育て支援施策の満足度	15.3%	—	40%	

〔単位施策の達成状況〕

8-01	子育て支援サービスの充実	
達成状況	進んでいる	保育ニーズの増加等に対応ができておらず、待機児童の解消はできていない。現在、令和2年4月の開設を目指し、認可保育所の工事を進めている。また、幼保連携型認定こども園の設置について民間運営者との協議を進めている。
8-02	子どもの健やかな成長への支援	
達成状況	進んでいる	産後において、家族等から十分な家事、育児等の援助が受けられない等、特に支援を必要とする母子及びその家庭に対し、心身の安定、育児不安の解消、児童虐待の未然防止を目的として、産後ケア事業を実施している。 妊婦健康診査については、産後健診の回数を増やし、健診回数を15回から16回に増やしている。また、各回数の健診補助単価を増額している。 子どもの健やかな育ちを支えるために、家庭訪問、健康診査、予防接種等の妊娠・出産・子育ての支援を確実に実施している。また、未受診や未接種の子どもへの勧奨も行っている。 保健・医療・福祉・教育などが連携し、発達支援システム個別ケース会議の中で一貫した相談・支援に努めている。 児童虐待予防のための、親支援プログラムを実施している。また、子育て支援センターの相談体制の強化により育児不安の解消等に努めている。
8-03	子育て家庭への支援	
達成状況	進んでいる	小児医療費助成については、所得制限なしで対象年齢を中学3年生までに拡大している。

〔協働のできることの進捗〕

町内会や子ども会が行事等を行うために児童館等の部屋の一部の貸し出しを行い支援している。葉山町発達支援システム保護者教室を乳幼児期、学齢期、成人期のライフステージ別に年3回開催し、内1回は茶話会形式で発達支援に対する情報交換や理解を深めている。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		町民健康課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	4	一人ひとりが大切にされ、自立し、健康で生き生きと暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	4	だれもがいつまでも心身ともに健やかで、元気に暮らしている
⑤ 基本施策	9	健康づくりの支援・推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

計画期間の前半は「葉山町健康増進計画・食育推進計画」に基づき、葉山体操の作成と普及や、ウォーキングマップの作成等、運動習慣強化の啓発等に取り組んだ。平成30年度以降の計画期間後期については「第2期葉山町健康増進計画・食育推進計画」に基づき、ウォーキングマップを活用したウォーキング教室や、健康増進施設利用券交付時の運動効果の啓発等を通して、町民の健康増進に取り組んでいる。また食育に関しては、学校や食生活改善推進団体若宮会等と連携して取り組んでいる。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
運動を週3回以上している青年期（19歳から39歳）の人の割合	22.8%	29年度45.7% 男性47.7% 女性44.3%	H28年度 男性43.5%⇒45.0%目標へ 女性41.9%⇒43.5%目標へ	「1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上継続している人（国保）の割合」の増加に変更したい。左記の指標は町民アンケートを取る年でないとしせないため。
定期的に健康診断・検診を受けている壮年期（40歳から64歳）の人の割合	77.1%	29年度27.4% 30年度27.7% （速報値）	H28年度 27.4%⇒29.0% 目標へ	「特定健診を受ける人（国保）の割合」の増加に変更したい。左記の指標は町民アンケートを取る年でないとしせないため。
健康だと思う高齢者（65歳以上）の割合	77.6%	29年度30.9% 男性40.9% 女性24.1%	H28年度 男性39.3%⇒38.0%目標へ 女性21.9%⇒20.0%目標へ	「20歳時の体重から10kg以上増加した人（国保）の割合」の減少に変更したい。左記の指標は町民アンケートを取る年でないとしせないため。
自分の歯が20本以上ある80歳以上の割合	30%	30年度8.7%	H29年度9.2% ⇒10.0%目標へ	「歯周病健診の受診率」に変更したい。左記の指標は出せないため。

〔単位施策の達成状況〕

9-01	自発的な健康づくりの支援	
達成状況	進んでいる	町民自身が健康管理意識を高め自発的に行動できるよう、環境づくりに努めた。 具体的には6字分のウォーキングマップを作成し、町民への配布とウォーキング習慣についての啓発、マップを活用したウォーキング教室の実施等により、町民が自発的にウォーキングを継続しやすくすることや、町民協働による葉山体操作成および各種団体への普及活動を通して、体を動かす習慣づくりを促した。また健康増進施設利用補助事業により運動習慣の動機付けを行った。
9-02	保健・予防対策の実施	
達成状況	進んでいる	特定健診や各種がん検診については分かりやすい周知に努め、受診できる個別医療機関を増やすなど受診しやすい環境整備を行った。また予防接種に関しては、風疹の追加的対策も含め、予防接種の目的や内容の周知に努め、医療機関との連携の元、疾病予防対策を行った。
9-03	保健センターの役割と取り組み	
達成状況	進んでいる	「第1期葉山町健康増進計画・食育推進計画」に基づいて着手した取り組みを「第2期葉山町健康増進計画・食育推進計画」に基づいて展開し、関係各課や関係団体と連携しながら、継続実施している。
9-04	食育事業の推進	
達成状況	進んでいる	子どもの食育については、学校および学校給食と連携し進めている。大人の食育については、学校配布物を通じたアプローチや、商工会との連携等を通し、進めている。

〔協働でできることの進捗〕

葉山体操を町民協働で作成し、普及に取り組んでいるが、「葉山体操は難しい」という評価の声が多く、またボランティアとしての普及活動継続に課題も多いことから、今後の取り組み継続には課題が多い状況。協働で進める場合、「町民との協働」という視点のみではなく、その先の展開(普及活動等)も踏まえ、作成の段階から「関係機関との連携と協働」についても併せて進めていく必要があったと思われる。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		町民健康課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	4	一人ひとりが大切にされ、自立し、健康で生き生きと暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	5	だれもが安心できる医療体制が整っている
⑤ 基本施策	10	地域医療体制の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

町内に1つの病院である「葉山ハートセンター」が、循環器専門病院ではなく総合医療を目指す病院へと病院機能の変更をされたことから、地域医療との連携調整を図り、H29年7月からは24時間救急医療の取組み開始や、H30年度からは町の乳がん検診、子宮がん検診の実施開始、令和元年度からは特定健診、長寿健診、肺がん、大腸がん、胃がんリスク、前立腺がん、肝炎ウィルス検査の実施開始へと調整できたことから、町内の医療体制の充実や、町民が各種健診・検診を受けやすい体制づくりにつなげることができた。

また在宅医療に関しては、平成25年度から29年度まで「逗子葉山医療保健福祉対策協議会」の中で3師会との調整を進め、平成29年10月には「逗子葉山在宅医療介護連携相談室」を逗葉地域医療センターに委託し開設することができたため、町民が希望すれば終末期でも在宅で安心して暮らせる、医療介護の連携体制の基盤を整備することができた。また結果的に在宅医療に取り組む医療機関についても増やしていくことができた。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
逗子・葉山地区の在宅療養支援診療所の数	8	21	14	
国民健康保険特定健康診査受診率	24.8%	H30年度27.7% (速報値)	60%	「地域医療体制の充実」に対しては、そぐわない指標であるため、項目を削除したい。

〔単位施策の達成状況〕

10-01	かかりつけ医の普及・促進	
達成状況	進んでいる	特定健診、長寿健診については、医師会を通して「かかりつけ医からの受診勧奨」(個別健診)について取り組んでおり、かかりつけ医推進を実施している。また在宅医療介護の拠点となる「逗子葉山在宅医療介護連携相談室」には、病院と診療所との連携窓口機能があるため、病院から退院する患者に対して地域のかかりつけ医を紹介するなど、相談室の運営を通し、かかりつけ医の普及・推進について取り組んでいる。
10-02	救急医療体制の強化	
達成状況	進んでいる	葉山ハートセンターが、H29年7月から24時間救急医療への取り組みを開始したため、医療体制は充実している。
10-03	国民健康保険・後期高齢者医療保険の安定した事業運営	
達成状況	進んでいる	一定のリスク以上の人にターゲットを絞った「重症化予防教室」の実施などを通し、医療費の増大防止を図ることや、保険者努力支援事業への取り組みなどを通して、安定した事業の実施運営に努めている。

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		福祉課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	4	一人ひとりが大切にされ、自立し、健康で生き生きと暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	6	支えあいによって、すべての人が安心して暮らしている
⑤ 基本施策	11	地域福祉の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

社会福祉法（第106条の3）にもあるとおり、今後は包括的な支援体制の整備（例えば、①地域福祉活動への地域住民の参加を促す活動者への支援、②地域住民が相互交流を図ることができる拠点の整備、③地域住民向け研修の実施、④その他環境の整備）が急務である。

また、支える側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支えあいながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成するなど「地域共生社会」の視点をもって進めていく。現行の『葉山町地域福祉推進プラン』が令和3年度末で終了となるが、成年後見等新たな視点も含め次期計画策定において、だれも孤立しないまちづくりを一層進めてゆく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
小地域福祉活動推進組織数	5団体	6団体	9団体	
ふれあいいいききサロン 団体数	10団体	49団体	19団体	※助成金支給サロン(15)、助成金支給無しの把握サロン(14)、ミニデイサロン(20)の合算
社会福祉ボランティア団体数	58団体	50団体	64団体	※25年度値は福祉分野以外の団体も含んでいた可能性あり

〔単位施策の達成状況〕

11-01	身近な地域での支えあい活動の拡大	
達成状況	進んでいる	平成29年度末以降で民生委員児童委員の充足率は100%になったが、令和元年度欠員1名が生じた。「民生委員児童委員の負担」や、3年に1度の一斉改選の度に生じるであろう「なり手不足」や「なり手の高齢化による交代サイクルの短期化」そのなり手を捜す「町内(自治)会長の負担」など根本的な解決には至っていない。
11-02	福祉意識の啓発とボランティアへの参加拡大	
達成状況	進んでいる	地域で支え合わないと根本的な問題解決にならないため、外科治療的なボランティアに頼るのではなく、例えば小地域福祉活動などの個別支援を6箇所中5箇所で開催している。今後も地域内のコミュニティーをきちんと作っていくことが求められる。
11-03	地域福祉の推進体制の強化	
達成状況	進んでいる	コミュニティーソーシャルワーク基礎研修を町社会福祉協議会への委託で実施した。当初、専門職の参加者が少なかったなど実施方法については再考して、専門職と一般の研修を分けて実施した。

〔協働でできることの進捗〕

平成28年度に『葉山町地域福祉推進プラン』を策定し、29年度にはコミュニティーソーシャルワーク基礎研修を実施や地域協議体への参加・助言をするなど、町社会福祉協議会との協働で地域福祉を図ることができた。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		福祉課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	4	一人ひとりが大切にされ、自立し、健康で生き生きと暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	6	支えあいによって、すべての人が安心して暮らしている
⑤ 基本施策	12	高齢者福祉の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年及び団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には介護給付費の増大、介護の担い手の減少等、高齢者福祉を取り巻く環境はますます厳しいものとなることが予想される。

そこで、当町としては全国に先駆け国モデル事業として実施している「地域づくりによる介護予防事業」としての貯筋運動、「ケアマネジメント適正化事業」「介護予防普及展開事業」として自立支援型ケアマネジメント、地域ケア個別会議に着手しているものであり、これら介護予防事業、包括的・任意的支援事業を積極的に推進していくことが重要な施策となる。

また、社会福祉協議会と協働し地域住民との生活支援協議体を推進していくことで、地域の課題抽出、新たな資源開発を行うことで、お互い様の地域づくりを行っていくことが求められている。

上記のとおり、今後介護予防事業を積極的に推進することで比較的元気な高齢者の多い当町の特性を維持することで安定的な介護保険財政を運営するとともに、町民が可能な限り住み慣れた自宅で生活できる環境づくりを行っていく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
介護・介助の必要性はないと考えている人の割合	88.5%	90.30%	90%	介護保険事業計画 町民アンケート
普段、自分が健康と思うと答えている人の割合	80.2%	82.20%	83%	介護保険事業計画 町民アンケート

〔単位施策の達成状況〕

12-01	地域包括ケアの推進	
達成状況	進んでいる	医療・介護・生活支援といった様々な課題に対し多職種・住民と協働しながら地域包括ケアの推進を行っている。 具体的には、住み慣れた地域で可能な限り生活を維持していくことを目的に、各地域での課題発掘、新たな資源開発を目指した生活支援協議体を設置し協議を開始するとともに、医療・介護の連携に向け逗葉地域在宅医療連携室の設置、運営を進めている。
12-02	介護予防・生きがいづくりの推進	
達成状況	進んでいる	認知症予防教室、介護予防教室、水中歩行教室等、様々な介護予防教室を開催するとともに、国モデル事業である「地域づくりによる介護予防事業」としての住民主体の貯筋運動を町内15か所(平成30年7月現在)で開始し、介護予防・生きがいづくりの推進を行っている。
12-03	介護保険サービスの充実	
達成状況	進んでいる	地域密着型サービスとして小規模多機能型居宅介護支援事業所の整備、訪問看護事業所の整備を行う中で、在宅介護サービスの充実を行っている。

〔協働でできることの進捗〕

社会福祉協議会と協働し、町内を8圏域に分割し地域住民を主体とした生活支援協議体の設置に着手している。
生活支援協議体では、地域での課題、解決策を検討する中で新たな資源開発を行い、行政・社協・住民が協働し地域福祉の担い手作り、住民同士のつながりづくりを目指すものである。
地域福祉を推進する上では、自助・互助・共助・公助の役割について行政と住民が協議していくことが求められている。
地域福祉を推進することで、町民が最期まで住みなれた地域づくりを目指すものである。
なお、平成29年度より政策課も同事業に参加することで庁舎内の協働も進めている。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		福祉課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	4	一人ひとりが大切にされ、自立し、健康で生き生きと暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	6	支えあいによって、すべての人が安心して暮らしている
⑤ 基本施策	13	障害児者福祉の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

障害のある人もない人も住み慣れた地域で共に安心して自分らしく暮らせるまちづくりを実現していくためには、すべての人が障害に対する正しい知識を持ち、障害のある人が気軽に相談できる体制をより効果的なものとして、不安の解消と適切なサービス利用につなげること、そして、障害のある人が自立した生活ができるように、障害のある人の就労環境や住まいなどの生活環境を整えることが重要であると考えられる。

今後も、引き続き①相談支援の質の向上、②就労支援体制の整備、③地域で自立した生活を送るための環境づくりを重点に取り組んでいく。また、障害児支援のニーズの多様化にきめ細かく対応するため、平成30年度を初年度として第1期障害児福祉計画を策定した。令和2年度は障害者計画、第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画が一体となった障害者福祉計画を策定し障害者施策を推進していく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
障害のある人にとって暮らしやすい町だと思える人の割合（回答者：障害のない人）	17%	-	45%	障害者福祉に関するアンケート
障害のある人にとって暮らしやすい町だと思える人の割合（回答者：障害のある人）	24%	-	45%	障害者福祉に関するアンケート
相談支援事業所への相談件数	4,795件	4,625件	7,275件	指標設定当時は、障害福祉サービス利用に必要な計画相談が100%に満たなかったため、より適切なサービス利用につなげるために相談件数の増加を指標設定に置いたが、現在は計画相談作成率は100%となり、相談件数の増減も横這いで指標として効果を読み取ることが難しいため削除したい。

〔単位施策の達成状況〕

13-01	相談支援の充実	
達成状況	進んでいる	平成27年度より障害福祉サービス支給決定の際に必要な計画相談支援については、平成29年度には作成率が100%になり、支援が必要な人に適したサービスが提供されているが、自立支援協議会により作成された課題分析検討表からは、依然として十分な相談窓口の認知や制度の理解が図られていないのが現状であることが分かった。障害のある方が「どこに相談してよいかわからない」という状態にならないよう地域生活支援拠点になりえる、障害やライフステージに応じた相談ができる体制を整備していく必要がある。
13-02	就労の推進	
達成状況	進んでいる	葉山町自立支援協議会をはじめ、日ごろから障害者就業・生活支援センターや就労移行支援・継続支援事業所など、関連団体と連携し、就労支援施設への積極的な発注、雇用報奨金の支給や町職員の積極的な障害者雇用など、適切な就労支援に努めている。しかしながら、町内に就労できる場が少ないなどの問題もあるため、近隣市との連携も図りつつ、今後も、障害のある人の就職活動や就労の継続を支援する総合的な就労支援体制の充実に取り組んでいく。
13-03	地域での自立生活支援の充実	
達成状況	進んでいる	障害のある人が地域で安心して暮らしていくためには、障害の状況やライフステージに応じた住まいの場の確保とともに障害や障害のある人への理解を深めることが重要である。平成29年に知的障害者グループホーム「ジャストサイズ一色」の代替として新たに「ジャストサイズ堀内」が開設され、受入人数は増えたが、1箇所ではニーズに対応できる状況ではない。今後もGHIに限らず多様な住まいの確保に努める必要がある。また、障害のある人とない人とが相互に交流する機会が十分ではなく、今後も交流活動をより活性化することで障害のある人に対する理解が深まるよう取り組んでいく。

〔協働でできることの進捗〕

関係機関、関係団体並びに障害のある人及びその家族が幅広く参加している葉山町自立支援協議会では相互の連携を図るとともに、地域ネットワーク体制の構築、社会資源の確保・充実、その他支援策の検討等、諸々の課題について検討・協議している。地域生活を考える交流会を開催し当事者、地域の方の現状とニーズの把握についてとめており、交流会以外でも町内にある事業所が開催するイベントとタイアップして、地域との交流を図っている。

また、令和元年度からは自立支援協議会のワーキンググループとして情報みえる化チームを結成し、「どこへ相談してよいかわからない」、「どんなサービスがあるかわからない」、等の「わからない」を解決するために情報の伝わり方、情報収集の仕方を研究する取り組みを開始した。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		環境課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	5	豊かな自然に囲まれた中で、環境に配慮しながら、安全で快適に暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	7	緑豊かな環境が保たれている
⑤ 基本施策	14	緑の保全

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

<p>葉山町緑の基本計画に則った運営を行い、枯れ松防除、抵抗性マツ植樹、いけがき設置等を継続推進するとともに、里山管理体験などで子ども達が自然と触れ合う機会を設け環境学習の場を提供した。また、町有緑地管理については枝払い等の要望が多いため、今後定期的・計画的な維持管理をしていく予定である。</p> <p>また、タイワンリス、アライグマ等の外来生物対策として、捕獲檻の貸出しを実施し捕獲を行うとともに、隣接する横須賀市及び逗子市と連携し、行政境における計画防除を行い、生態系被害の低減・排除に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/></p>
--

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
民有緑地の保全契約面積	4.4ha	4.4ha	現状維持	
アライグマ捕獲数 タイワンリス捕獲数	22頭 362匹	64頭 696匹	地域からの 排除	

〔単位施策の達成状況〕

14-01	緑の保全活動の促進・支援	
達成状況	進んでいる	里山管理活動の開催頻度・参加人数、民有地に対する各種補助の内容・件数ともに大きな変更や増減はなく、概ね現状を維持していると判断している。
14-02	有害鳥獣の防除と在来希少生物の保護	
達成状況	進んでいる	外来生物(アライグマ・タイワンリス)については、年度間で捕獲数にばらつきがあるものの、近隣市町村等の状況も含めて勘案すると、生息数・被害状況ともに概ね落ち着きつつあると判断している。

〔協働でできることの進捗〕

町内のボランティア団体との協働で年数回竹林整備を実施しているほか、有害鳥獣(イノシシ)対策として、農家や関係団体と連携し、藪刈り等の防除対策を行っている。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		環境課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	5	豊かな自然に囲まれた中で、環境に配慮しながら、安全で快適に暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	8	環境共生社会の形成を目指した取り組みが、地域で浸透している
⑤ 基本施策	15	循環型社会の形成

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

平成26年6月からの戸別収集及び資源ステーション回収に収集方式を切り替えたことによって、ごみの減量化及び資源化は進めることができた。しかし、収集方式の変更によってごみの出し間違い等の問題も見られたことから、平成27年度から28年度にかけて町内会連合会と連携し「きれいな資源ステーション協働プロジェクト」を行い問題解決を図り、令和元年度には「ごみと資源の地域座談会」を実施しごみの出し方について振り返りを行うなど、その後も「ゼロ・ウェイストのまち葉山」を目指し引き続き事業を展開している。また、生ごみ自家処理容器も販売の鈍化が見られたが、平成29年度に特別販売キャンペーンを行うことで販売数を大きく増加させることが出来た。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
リサイクル率	36.1%	49.8%	45%	
生ごみ処理機普及世帯率	33%	40.2%	50%	

〔単位施策の達成状況〕

15-01	ごみの資源化・減量化の推進	
達成状況	進んでいる	生ごみ処理機普及世帯率は40.2%と前年より0.2%下がったものの、リサイクル率は目指そう値を達成しており、全体としては概ね順調に進んでいる。
15-02	ごみの安定処理	
達成状況		

〔協働でできることの進捗〕

ごみ減らし隊と協働により、役場前等での生ごみ処理容器のPR、機関紙「ペ」の発行などを行い、ごみの資源化・減量化に対する普及促進を行っている。また、町民ボランティアと協働により不用品の再利用(リユース)を促進するためのイベント「くるくる市」を行っている。

27年度から28年度にかけて町内会連合会と連携し「きれいな資源ステーション協働プロジェクト」を行い、ごみの出し間違いの解消に向けた問題解決を図った。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		クリーンセンター
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	5	豊かな自然に囲まれた中で、環境に配慮しながら、安全で快適に暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	8	環境共生社会の形成を目指した取り組みが、地域で浸透している
⑤ 基本施策	15	循環型社会の形成

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

ごみの資源化・減量化については、広報等を活用した啓発や情報提供をはじめ、戸別収集の特性を活かした職員による啓発・指導による効果が数値として出ている。
 また、資源ステーションについては、町内会・自治会との協力と連携のもと進めており、引き続き協働による啓発活動を進めていく必要がある。
 また、ごみの安定処理については、2市1町での「覚書」を締結し、まずは、逗子市との事務委託により「可燃ごみ」と「し尿及び浄化槽汚泥」の処理を実現した。
 今後、「容器包装プラスチック」をはじめとする他品目についても検討・協議を引き続き行っていく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
リサイクル率	36.1%		45%	
生ごみ処理機普及世帯率	33%		50%	

〔単位施策の達成状況〕

15-01	ごみの資源化・減量化の推進	
達成状況	/	
15-02	ごみの安定処理	
達成状況	進んでいる	<p>鎌倉市・逗子市との2市1町で「覚書」を締結し、まずは「可燃ごみ」並びに「し尿及び浄化槽汚泥」の処理について事務委託を実現させた。 今後、「容器包装プラスチック」をはじめ他品目での共同処理の検討・協議を進める。</p>

〔協働でできることの進捗〕

町内会・自治会とは、環境課・政策課による「きれいな資源ステーションプロジェクト」での検証結果を踏まえ、クリーンセンターで予算化し資源ステーションの看板更新を平成29年12月に行った。
 今後は、クリーンセンターを含めた町内会・自治会との意見交換や要望をうかがいながら、不法投棄や出し間違いを未然に防ぐ対策を講じるための検証が必要である。
 また、排出困難者の情報など、高齢化社会・社会的弱者に向けた対策など協働での取り組みも併せて進めていく必要がある。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		環境課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	5	豊かな自然に囲まれた中で、環境に配慮しながら、安全で快適に暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	8	環境共生社会の形成を目指した取り組みが、地域で浸透している
⑤ 基本施策	16	地球温暖化対策の推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

第四期葉山町地球温暖化対策実行計画に基づき、庁舎内の電気・燃料使用量抑制のための取り組みや、業務時間外に庁舎内の照明を消灯するライトダウンキャンペーンなどを実施している。
また、町民に対しては、再生可能エネルギーを利用したシステム等の設置に対する補助等、温室効果ガスの排出抑制のための措置を講じ、温暖化対策に向けての取り組みにあたっている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
葉山町の事務事業において排出される温室効果ガス量（本庁舎及び出先機関）	3,021,288 (kg-Co2)	3,024,625 (kg-Co2)	2,960,374 (kg-Co2)	

〔単位施策の達成状況〕

16-01	資源エネルギー対策の促進	
達成状況	進んでいる	<p>学校等の施設に太陽光パネルを設置するなど、再生可能エネルギーの普及促進に取り組んだ。今後の公共施設の再編計画の中で、既存の電気設備をより高効率・高性能なものに見直すなどして、環境負荷の低減に努めたい。</p>

〔協働でできることの進捗〕

イベント・広報等で、地球温暖化対策への意識啓発を定期的に行うとともに、協働でできることへの調査・研究に努めたい。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		下水道課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	5	豊かな自然に囲まれた中で、環境に配慮しながら、安全で快適に暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	9	良好な水環境が未来の世代に引き継がれている
⑤ 基本施策	17	公共下水道事業の推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

下水道の整備については、平成27年度に汚水処理施設整備構想(アクションプラン)の策定及び全体計画の見直しを実施し、581haから513haへ区域の縮小を行い、令和7年度までに513haの整備概成を目標とした。

目標を達成するためには、従来の整備面積の倍以上のペースで進めていく必要があるため、新しい手法として官民連携事業による整備を平成30年度から実施し、未普及地域の早期解消の実現を目指して取り組みを進めています。

また、令和元年度より執行体制の確保(ヒト)、下水道施設の老朽化への対応(モノ)及び財源基盤の強化(カネ)を一体的に捉え下水道サービスを安定的に提供していくために、アセットマネジメント計画の策定に着手しました。令和元年度、令和2年度の2カ年でアセットマネジメント計画策定を完了し、令和3年度よりアセットマネジメントに即した下水道事業の運営に取り組んでいきます。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
下水道人口普及率	59.0%	67.8%	73%	このまま継続
放流先の水質(BOD値)	9.5mg/L 以下	6.9mg/L 以下	9.5mg/L 以下	BODについては、指標としてわかりづらい部分があるので、削除します。

〔単位施策の達成状況〕

17-01	公共下水道の整備推進と普及・促進	
達成状況	進んでいる	<p>最少の経費で最大の効果を得られるように、平成29年度から下水道管渠整備官民連携事業の準備を進めています。平成30年度から本格的に官民連携事業をスタートさせ、円滑に処理区域の拡大を図っていきます。</p> <p>また、未接続家屋に対する普及啓発活動として戸別訪問は、今後も継続的に実施します。下水道事業を町民に理解していただくためのPR活動を実施していきます。</p>
17-02	公共下水道施設の適正な運営	
達成状況	進んでいる	<p>各年度適正な維持管理を実施しているが、耐用年数を超過した設備・機器等に対して、改築・更新・修繕を実施していくには、多額の費用を要するため、令和元年度よりアセットマネジメント計画策定に着手し、安定した下水道サービスの提供ができるように計画的に進めていきます。</p> <p>高度処理については、各年度の浄化センターへの流入量の増加を見ながら導入の時期について、判断していきます。</p> <p>また、公営企業会計の導入については、平成30年4月1日に導入しています。</p>

〔協働でできることの進捗〕

新しい整備手法として官民連携事業（PPP事業）による整備を平成30年度から実施し、未普及地域の早期解消に向けて取り組んでいます。

また、今後浄化センター・中継ポンプ場・マンホールポンプの運転管理委託に対しても、官民連携事業（包括的民間委託等）の導入が可能であるかを検討していきたいと考えています。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	環境課
②	基本理念区分	2 暮らしを守る
③	基本目標	5 豊かな自然に囲まれた中で、環境に配慮しながら、安全で快適に暮らしているまち
④	施策分野の将来像	9 良好な水環境が未来の世代に引き継がれている
⑤	基本施策	18 合併処理浄化槽の整備

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

平成27年度の生活排水処理基本計画の見直しにより、市街化調整区域を合併処理浄化槽整備区域とした。平成29年度より平成37年度までの期間限定で従来の補助金より補助金額を増額し、合併処理浄化槽の普及促進を行っている。また、設置後の適正な維持管理を促すため、維持管理補助金も合併処理浄化槽整備区域については増額を行い、啓発を行っている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
合併処理浄化槽人口 (市街化調整区域)	668人	949	1,000人	
法定検査受検率	25.2%	18.20%	50%	

〔単位施策の達成状況〕

18-01	合併処理浄化槽の普及・促進	
達成状況	進んでいる	<p>平成29年度からの補助金の増額により、合併処理浄化槽の転換数は大きく増えた。引き続き転換を促すことで、アクションプランに基づく平成37年度での10年概成を目指したい。</p> <p>法定検査率は依然低いが、維持管理補助金の啓発を進めていく。また、神奈川県の手帳整備に連携していくことで法定検査率の向上に繋げたい。</p>

〔協働でできることの進捗〕

補助金の増額に伴い、市街化調整区域の町民に向けて補助金の説明会を行った。今後も無料相談会等のイベントを行い、合併処理浄化槽への転換へ理解と協力を得られるよう、各町内会と連携していきたい。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		消防署
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	6	だれもが生命と財産を守られ、安全で安心してくらししているまち
④ 施策分野の将来像	10	生命や財産が守られ、だれもが安心できる消防・救急体制ができている
⑤ 基本施策	19	消防・救急体制の確立

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

複雑多様化する災害に対応する消防体制の強化及び年々増加する救急需要に対応すべき救急体制を充実させるため、車両資機材等の整備をはじめ、職員に対しての専門的技術知識の教育を継続的に進めていく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
住宅用火災警報器設置率	78.7%		100%	
消防団員の充足率	94.4%		100%	
消防水利の充足率	95.8%	109%	100%	

〔単位施策の達成状況〕

19-01	消防組織の強化	
達成状況	進んでいる	職員に対して、各業務に係る専門的な知識及び技術を習得させ、消防救急業務の組織的な強化を図った。
19-02	施設・設備の整備・充実	
達成状況	進んでいる	消防車両等は、法定点検及び日常点検を行い適切な維持管理をした。消防資機材及び無線設備は、保守点検を行い機能維持及び適切な運用管理ができた。消防水利の充足率は向上しているが消火栓の老朽化が進んでおり、水利点検等で不具合等が判明した際、修繕を行う必要がある。
19-03	火災予防体制の強化	
達成状況	/	
19-04	救急体制の強化	
達成状況	進んでいる	計画的に救急資機材の更新整備を行い、救急救命士の生涯教育及び各種認定救命士を養成し救急体制の強化が図れた。また、町民等を対象とした応急手当講習を実施する事で救命率の向上が期待できる。今後も計画的に救急資機材の更新整備及び各種認定救急救命士の養成を行い救急体制を充実させる。

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		消防総務課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	6	だれもが生命と財産を守られ、安全で安心してくらしているまち
④ 施策分野の将来像	10	生命や財産が守られ、だれもが安心できる消防・救急体制ができている
⑤ 基本施策	19	消防・救急体制の確立

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

消防職員は、専門的かつ高度な知識の取得と消防技術の向上の研さんに努めることにより、町民が安全で安心して暮らせる町づくりを進めている。

また職場内でのハラスメントを撲滅するため相談窓口を開設し、早期に問題解決を図れる体制を整えるとともに、外部講師による職員研修の実施、各階級別の職員ミーティングでの職員相互のコミュニケーションの活性化を図るなど消防職員の良好な職場環境の構築を目指しています。更に地域防災体制の中核的存在である消防団の充実強化を図るための支援をしていく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
住宅用火災警報器設置率	78.7%		100%	
消防団員の充足率	94.4%	84.3	100%	消防団募集広報等を積極的に実施しているが在住・在勤の方の事情等に左右されることが多く短期的な指標とすることはふさわしくない。 消防団定数198人 10月31日現在167人 12月1日169人予定
消防水利の充足率	95.8%		100%	

〔単位施策の達成状況〕

19-01	消防組織の強化	
達成状況	進んでいる	消防団員の加入促進については、地域の実情に合わせた取組を進めるとともに、比較的若い時期に退団された元団員の方に対し、再入団への働きを行っている。また令和元年度に消防団条例を改正し、入団し易い組織への改正を行っていく。
19-02	施設・設備の整備・充実	
達成状況	進んでいる	平成28年度に消防団第6分団詰所を新設し、平成30年度に第1分団詰所の外壁・空調・トイレの改修工事、第2分団詰所の外壁改修工事を実施しました。今後も他の分団詰所の修繕を計画的に行う。 装備品については、令和元年度に第4分団ポンプ車を国からの無償貸付を受け、配備する。また国の定める基準に基づき整備を進めている。
19-03	火災予防体制の強化	
達成状況	/	
19-04	救急体制の強化	
達成状況	/	

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名		予防課
②	基本理念区分	2	暮らしを守る
③	基本目標	6	だれもが生命と財産を守られ、安全で安心してくらししているまち
④	施策分野の将来像	10	生命や財産が守られ、だれもが安心できる消防・救急体制ができている
⑤	基本施策	19	消防・救急体制の確立

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

予防業務については、一般住宅や事業所からの火災を予防することを目的に、事業所に対しては火気の使用、取り扱いや消防用設備等の点検などの防火管理指導、消防用設備等の設置指導、危険物施設等の許認可や検査、防火対象物等への立入検査に関する事務を行っている。また、近年の予防業務は高度化、複雑化しており防火対象物に係る違反処理等の推進など、予防業務を円滑に遂行するためには、より高度な知識と技能が職員に求められるところである。

このような状況に対し、高齢者福祉施設や飲食店など多数の者が出入りする建物及び危険物施設等の消防法令違反については、人命への危険性が高い違反の是正を最優先とし、査察重点項目や査察計画を検証するとともに、「予防技術資格者」の養成や適正配置を行うことで、消防法令違反の是正に向けた効果的な予防査察体制を強化していく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
住宅用火災警報器設置率	78.7%	79%	100%	住宅用火災警報器設置状況調査は、消防職員が一般住宅を戸別訪問して行っているが、調査件数が設置対象住宅の1%にも満たないため、基本施策の進捗を表すものとしてふさわしくない。
消防団員の充足率	94.4%		100%	
消防水利の充足率	95.8%		100%	

〔単位施策の達成状況〕

19-01	消防組織の強化	
達成状況		
19-02	施設・設備の整備・充実	
達成状況		
19-03	火災予防体制の強化	
達成状況	進んでいる	<p>住宅用火災警報器のさらなる普及と住宅用消火器をはじめとする住宅用防災機器の普及を図るため、各種広報媒体の活用や火災予防イベント等により住宅防火への総合的な安全対策を推進しているところである。</p> <p>また、防火管理業務が複雑化しているなか、グループホーム等の高齢者施設など中小規模対象物での火災事例を踏まえ、今後このような特定防火対象物の増加を見込んだうえで、防火管理体制の充実及び違反是正に主眼を置いた予防査察体制へシフトしていく。</p>
19-04	救急体制の強化	
達成状況		

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		防災安全課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	6	だれもが生命と財産を守られ、安全で安心してくらしているまち
④ 施策分野の将来像	11	災害に強い、安全なまちづくりの推進
⑤ 基本施策	20	災害に強いまちづくりの推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

東日本大震災や熊本地震、各地で頻発する豪雨災害の教訓、さらには南海トラフ巨大地震、首都直下型地震に関する新しい知見をもとに、平成29年度及び平成30年度に地域防災計画を改定し、あらゆる災害に対してより実効性のある計画となるよう見直しを行いました。
この計画に基づき、今後も町民一人ひとりの防災意識の高揚や地域の防災活動の支援を通じて、町民と行政が一体となった地域防災対策を推進していく必要があります。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
町内(自治)会等訓練回数	21回	20回	32回	
防災メール登録件数	5,121件	5,614	5,800件	

〔単位施策の達成状況〕

20-01	防災意識の高揚と自主防災活動の促進	
達成状況	進んでいる	<p>地域住民一人ひとりの防災意識の高揚を図るため、様々な手法を用いて啓発活動を推進した。</p> <p>また、防災訓練や資機材購入の支援、自主防災組織リーダー養成研修、自主防災訓練奨励金制度などを通じて、自主防災組織や女性防火防災クラブなどによる自主防災活動の活性化を図った。</p>
20-02	応急体制の強化	
達成状況	進んでいる	<p>避難行動要支援者を関係機関が的確に把握し、迅速な避難誘導、避難所での適切な支援ができる体制づくりを進めた。</p> <p>また、関係各所との災害時応援協定の締結など、連携強化を図った。</p> <p>放射性物質汚染についても、放射線量の測定や安定ヨウ素剤の備蓄を行った。</p>
20-03	防災基盤の整備	
達成状況	進んでいる	<p>防災行政無線の適切な保守運用に努め、聞きづらい時の補完手段の充実や周知を図った。</p> <p>また、被害想定に基づき、防災資機材を更新するとともに、食糧・飲料水等の備蓄を進めている。</p>

〔協働でできることの進捗〕

自主防災組織の防災訓練などへ積極的に向き、防災意識の啓発や最低3日分、推奨7日分の水や食料の適切な備蓄を促している。

また、すべての指定避難所(町内小中学校6校)に町内会(自治会)、学校管理者(学校長)、町の3者からなる避難所運営委員会を立ち上げ、災害発生時に地域住民同士が連携しながら、主体となって避難所を開設・運営を行う体制づくりを進めている。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		防災安全課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	6	だれもが生命と財産を守られ、安全で安心してくらししているまち
④ 施策分野の将来像	12	だれもが日々の生活に心配や不安がなく、心穏やかに暮らしている
⑤ 基本施策	21	防犯・交通安全対策の推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

犯罪発生件数減少の一方で、近年はインターネットを利用した犯罪や特殊詐欺(いわゆる「オレオレ詐欺」)など、犯罪の多様化・巧妙化が進んでおり、警察をはじめ、防犯協会など関係諸団体、家庭、学校、地域等と緊密な連絡体制を築き、犯罪の減少・撲滅にむけた取り組みを進めています。

また、狭あいで見通しの悪い道路が多い本町では、高齢化の進展もあいまって、交通安全対策はなお一層重要と言え、さらなる交通安全意識の啓発を行っています。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
犯罪発生件数	130件	84件	0件	
交通事故発生件数	113件	116件	0件	

〔単位施策の達成状況〕

21-01	防犯対策の推進	
達成状況	進んでいる	時機をとらえた防犯情報の提供、青パトによる定期的な巡回、地域の防犯パトロールの支援など各種団体と連携した啓発活動を推進した。
21-02	交通安全対策の推進	
達成状況	進んでいる	交通安全キャンペーンをはじめ、小学生を対象とした自転車交通安全教室など各種啓発活動を展開し、交通安全対策の推進を図った。

〔協働でできることの進捗〕

一人ひとりがルールやマナーを守り、地域での防犯活動・交通安全活動へ積極的に参加・協力していくことを促進した。また、警察署や交通安全協会、交通安全対策協議会、防犯協会、町内(自治)会が連携して、防犯活動・交通安全活動に取り組んだ。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		町民健康課
② 基本理念区分	2	暮らしを守る
③ 基本目標	6	だれもが生命と財産を守られ、安全で安心して暮らしているまち
④ 施策分野の将来像	12	だれもが日々の生活に心配や不安がなく、心穏やかに暮らしている
⑤ 基本施策	22	各種相談体制の確立

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

平成27年度より消費生活相談は月4回から月6回に増設し、次の相談日までの期間が短くなった。近年、架空請求が増えていることにより、相談件数は増加傾向にあり、町内回覧等で注意喚起や情報提供に努めた。今後も相談体制を維持し、被害の未然防止のための啓発を行っていく。
 弁護士による法律相談等の専門相談についても、令和元年度は台風関連の相談が増加した。毎年、件数の増減はあるが、一定数の需要があり、引き続き各種相談を維持していく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
消費生活講座の開催	0回	3回	6回	
消費生活相談の開設日	週1日	月6回	週3日	

〔単位施策の達成状況〕

22-01	相談体制の充実	
達成状況	進んでいる	講座は実施できていないが、専門相談は継続して開設している。
22-02	消費生活問題への対応	
達成状況	進んでいる	平成27年度より月4回から月6回に相談日を増設。今後、被害未然防止のための講座や情報提供について、回数を増やす等検討していく。

〔協働でできることの進捗〕

雑草の繁茂等の相隣関係について町民より相談があった場合、状況に応じて町内会に相談することをご案内している。町内会から相談を受けることもあり、相互に協力はしている。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		都市計画課
② 基本理念区分	3	活力を創造する
③ 基本目標	7	だれもが住みやすく、暮らしやすい環境が整っているまち
④ 施策分野の将来像	13	自然に囲まれた居住環境と緑が大切にされている葉山のイメージが保たれている
⑤ 基本施策	23	地域特性を生かしたまちづくりの推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

<p>平成28年1月に「葉山町都市計画マスタープラン」の改定を行い、「葉山町まちづくり条例」「葉山町景観計画」の運用と併せ、地域の特性や地域住民のニーズに応じたまちづくりを進めている。</p> <p>屋外広告物については、平成29年10月に改正された「神奈川県屋外広告物条例」に則し、引き続き許可業務等を行い、良好な景観の整備・創出に向け適正な規制誘導を進めている。</p>

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
地域まちづくり推進協議会の認定数	2団体	3団体	5団体	
地域における土地利用規制の満足度	—	—	50%超	

〔単位施策の達成状況〕

23-01	地域特性に沿った土地利用の誘導	
達成状況	進んでいる	「葉山町まちづくり条例」の適切な運用により、「葉山町都市計画マスタープラン」の方針に沿った土地利用の誘導を行っている。
23-02	良好な景観の形成	
達成状況	進んでいる	「葉山町まちづくり条例」及び「葉山町景観計画」の適切な運用により、地域や時代に即した良好な景観の整備・創出に努めている。
23-03	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	
達成状況	進んでいる	公共空間のユニバーサルデザイン化を推進するなかで、町内の公園に休憩施設であるベンチの設置または更新を順次進めてる。 また、「葉山町まちづくり条例」により協議が必要とされる民間開発事業については、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例に基づき整備を行うよう指導している。

〔協働でできることの進捗〕

3つの団体につき「地域まちづくり推進協議会」を認定している。引き続き町内会・自治会等と協働でのまちづくりに向けて取り組んで行く。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		都市計画課
② 基本理念区分	3	活力を創造する
③ 基本目標	7	だれもが住みやすく、暮らしやすい環境が整っているまち
④ 施策分野の将来像	14	やすらぎとうるおいを感じることができる空間がある
⑤ 基本施策	24	魅力ある公園の創出

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

町内には都市公園が7箇所、一般公園などの身近な公園が63箇所あり、一人あたりの公園整備量は県内でも高い水準で、平成27年度に一般公園が1箇所増えたが、規模や配置については地域によって隔たりがある現状である。

しかし令和元年度の法定点検において、緊急修繕及び破棄更新が必要とされるD評価を受けた遊具が0となるなど、遊具の整備については一定の成果が得られている。

今後も、地域に身近な公園について、地域住民のニーズに即した施設整備や維持管理に努めることにより、住民の満足度の向上を図っていく。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
地域の身近な公園に対する満足度	—	—	50%超	

〔単位施策の達成状況〕

24-01	地域のニーズに即した公園の創出	
達成状況	進んでいる	<p>配置についての地域間の隔たりの解消には至っていないが、平成27年度にも一公園新設しており、また毎年度、既存公園の遊具・フェンス・ベンチ等の修繕・更新・新設を進め、地域のニーズに即した公園の創出に供している。</p> <p>樹木については今年度整備計画を作成し、令和2年度から3ヵ年かけて伐採・剪定を進めていく予定。</p>

〔協働でできることの進捗〕

公園管理についていくつかの地元町内会・自治会等と管理協定を結び、協働での管理を行っている。今後も引き続き、地域住民による主体的な利用や維持管理が広がるよう取り組む。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		道路河川課
② 基本理念区分	3	活力を創造する
③ 基本目標	7	だれもが住みやすく、暮らしやすい環境が整っているまち
④ 施策分野の将来像	14	やすらぎとうるおいを感じることができる空間がある
⑤ 基本施策	25	水辺環境の整備促進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

平成27年度に、SHOPPING PLAZA HAYAMA STATIONの開業地に関連する水路整備を行い、南郷地域の活性化に寄与できたと考えられる。他にも町内各地に水路はあるため、今後も機会をとらえて、機能性を保持したまま安全性の向上に努めていく必要がある。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
河川の整備に対する満足度	22.9%	—	30%	

〔単位施策の達成状況〕

25-01	河川の治水性・親水性の向上	
達成状況	進んでいる	近年の大雨・長雨などの影響で、町が管理する小規模な水路にも支障をきたす事例があり、対策を施してきた。今後も治水対策を優先させつつ、水や川に親しみを深めることができる水路整備も検討していく。

〔協働でできることの進捗〕

地域の皆様からの通報により、水流に支障が出始めた地点を発見できることもある。また、水路清掃に協力していただいている地域もある。引き続き、協力を賜りながら、水辺環境の保全・活用に取り組んでいく。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	都市計画課
②	基本理念区分	3 活力を創造する
③	基本目標	7 だれもが住みやすく、暮らしやすい環境が整っているまち
④	施策分野の将来像	15 安全で環境に配慮した道路環境が整っている
⑤	基本施策	26 計画的な幹線道路の整備

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

葉山町の道路体系は、一般国道道及び横浜横須賀道路・逗葉新道などを幹線道路として形成されているが、町が事業主体となる都市計画道路については、平成26年3月に策定した「都市計画道路の見直し方針」に則し存続・変更・廃止を行っている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
都市計画道路整備率 (事業主体:葉山町)	66.8%	80%	80%	
都市計画道路の未着手 区間の延長	2,305m	1,245m	1,200m	

〔単位施策の達成状況〕

26-01	都市計画道路の計画的な整備	
達成状況	進んでいる	平成28・29年度で葉山都市計画道路3・6・8号一色下山口線の一部につき設計及び整備工事を行った。 令和2年度より、葉山都市計画道路3・6・7号向原森戸線の一部につき測量及び実施設計を行う予定である。
26-01	都市計画道路の見直しに伴う都市計画決定(変更)	
達成状況	進んでいる	平成27年3月葉山都市計画道路3・6・4号長柄東返子線につき廃止の都市計画決定を行った。 今後も変更・廃止等、地域の実情にあわせた都市計画決定の見直しを行っていく。

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	道路河川課
②	基本理念区分	3 活力を創造する
③	基本目標	7 だれもが住みやすく、暮らしやすい環境が整っているまち
④	施策分野の将来像	15 安全で環境に配慮した道路環境が整っている
⑤	基本施策	27 安全で快適な町道の確保

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

少しずつではあるが、隣接する地権者や、開発事業者の協力をいただきながら、町道拡幅や舗装整備などを着実に進めている。歩行者等の安全確保を優先させながら、引続き車両が円滑に通行できる町道環境の整備にも取り組んでいく必要がある。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
道路の整備に対する満足度	22.9%	—	30%	

〔単位施策の達成状況〕

27-01	町道の整備・維持管理	
達成状況	進んでいる	優先順位を見極めながら、毎年整備路線を選定し、必要な整備を実施している。また、精力的にパトロールを行い、町道の維持管理に努めている。
27-02	道路交通の安全確保	
達成状況	進んでいる	ガードレールやポールなどの物理的な交通安全施設の維持管理に努めるとともに、必要に応じて区画線や夜間点滅型交差点鉤などの視覚的な対策にも取り組んでいる。

〔協働でできることの進捗〕

地域の皆様からの通報により、通行に支障が出始めた地点を発見できることもある。また、町道清掃に協力していただいている地域もある。引き続き、協力を賜りながら、町道環境の向上に取り組んでいく。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		道路河川課
② 基本理念区分	3	活力を創造する
③ 基本目標	7	だれもが住みやすく、暮らしやすい環境が整っているまち
④ 施策分野の将来像	15	安全で環境に配慮した道路環境が整っている
⑤ 基本施策	28	快適な橋りょうの維持管理

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

平成31年3月に策定した「葉山町橋りょう長寿命化修繕計画(第二期)」に基づき、順次橋りょうの修繕を行い、長寿命化を図っていく。

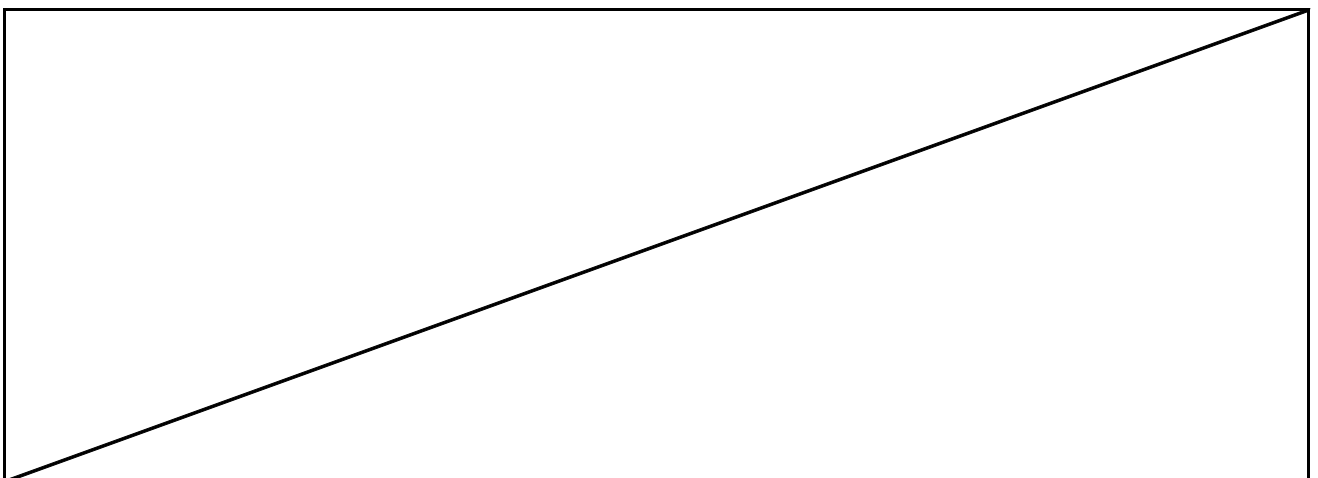
〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
「葉山町橋梁長寿命化修繕計画」に基づく修繕橋りょう数	—	9	15	

〔単位施策の達成状況〕

28-01	橋りょうの予防保全型管理の推進	
達成状況	進んでいる	平成31年3月に策定した「葉山町橋りょう長寿命化修繕計画(第二期)」に基づき、着実に補修していく。今後も5年に1回の法定点検と計画の改訂を繰り返しながら、予防保全型の維持補修を実施していく。

〔協働でできることの進捗〕



第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名		政策課
②	基本理念区分	3	活力を創造する
③	基本目標	7	だれもが住みやすく、暮らしやすい環境が整っているまち
④	施策分野の将来像	16	だれもが使いやすい公共交通環境が整っている
⑤	基本施策	29	公共交通の環境整備

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

本町の公共交通機関は、鉄道駅が無いことから、民間事業者による定期運行バスの利用が主である。新規路線の開通や便数の増など、バス利用者の利便性の向上に向け定期的な要望を行っているが、運転手確保などの課題から困難な状況にある。

また、「葉山女子旅きっぷ」などの影響により路線によっては、観光シーズンを中心にバスが混雑しており住民が利用できないという課題も発生している。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
公共交通の利便性に不満をもっている町民の割合	61.4%	—	50%	

〔単位施策の達成状況〕

29-01	バス路線の充実	
達成状況	進んでいる	京急バス延伸協議会を設け住民の要望を聞き、京浜急行バスに要望活動を行っている。
29-02	バスの利用環境の向上	
達成状況	進んでいる	県の協力のもと新たなバスベイ(旧役場前上り、葉山マリーナ前上り)を設けることができた。今後もバス停の上屋の設置など可能なところについては整備を行っていく。
29-03	自転車の利用環境の向上	
達成状況	進んでいない	主に多くの自転車が通行する国・県道については、グレーチングを目の細かいのにし、自転車が通行しやすいものにするよう要望はしているが、周辺自治体と研究は行えていない。

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		産業振興課
② 基本理念区分	3	活力を創造する
③ 基本目標	8	地域が元気や活力にあふれ、生き生きとしているまち
④ 施策分野の将来像	17	地域産業が「葉山」というブランド力と結びつきながら、活発に活動している
⑤ 基本施策	30	農業・水産業・商業の振興と連携の促進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

南郷地区に完成した HAYAMA STATION では葉山の特産品等を販売するアンテナショップをはじめ、地元の農水産物の販売ブースを設置するなど、農水産業の販売及び観光の拠点として機能している。売り上げも好調で、今後も各産業の連携の軸として発展することが期待できる。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
販売農家数	30戸	—	30戸	町内全ての販売農家数について、町・JAで把握していないため、次期は「新規就農者数」を指標としたい。
肉用牛飼養頭数	299頭	289頭	300頭	
漁業組合員数	104	91	105	現漁業者が、生活水準を維持できる程度の収入を確保する意図で設定したが、限られた水産資源の保護の観点も考慮し、組合員数の維持は難しいと思う。
事業所数	931	972	950	
売上高	434.6億円	492億円	530億円	
直売施設利用者数	23,000人	682,737	177,000人	

〔単位施策の達成状況〕

30-01	地域に根ざした農業の振興	
達成状況	進んでいる	町民農園の開設や農産物品評会を開催し、地元農業への理解や葉山野菜の魅力を伝えるなどし、地産地消の推進を図っている。 また、休耕地対策として、農業の新たな担い手を確保するため、新規就農者認定基準を定めたうえで、農業委員会やJAとの連携を更に密にしていく。
30-02	つくり育てる漁業の振興	
達成状況	進んでいる	真名瀬漁港については、引き続き、真名瀬漁港維持運営計画に基づき、適切に維持管理を進めており、各施設においては、真名瀬漁港水産物基盤機能保全計画により、施設の長寿命化を図っている。 また、漁場の育成、稚魚の放流等、資源の増産については、漁業協同組合への支援を行っている。
30-03	魅力ある商工業の振興	
達成状況	進んでいる	創業支援事業計画を策定し、商工会と連携して創業セミナーを実施するとともに、葉山らしい魅力ある店舗のPRを兼ねて、観光ガイドマップにおいてその店舗の紹介をしている。
30-04	6次産業化の推進	
達成状況	進んでいる	地元でとれた農産物や海産物を上山口農産物加工所等で加工し、「HAYAMA STATION」や朝市、町内の小売店等で販売して、町内における6次産業化を推進している。

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名		政策課
②	基本理念区分	3	活力を創造する
③	基本目標	9	地域の魅力が住んでいる人や訪れる人を惹きつけているまち
④	施策分野の将来像	18	葉山の魅力が十分に発信され、ゆったりとした時間が流れるような観光スタイルが整っている
⑤	基本施策	31	観光の振興

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

町の自然や風景などをInstagramを利用し発信している。Instagramのフォロワー数も3万人を超え、自治体のInstagramでは全国で2位となっている。こうした媒体を活用し待ちの魅力を発信できている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
町内で行われるイベントの来場者数	99,226人		104,000人	

〔単位施策の達成状況〕

31-01	地域資源の魅力化・ネットワーク化	
達成状況		
31-02	観光PRの推進	
達成状況	進んでいる	<p>インスタグラムを毎日投稿してきたことでフォロワー数も増え、これをきっかけで葉山を訪れる人も増えている。インスタグラムの写真を使い作成したフォトブック「HAYAMA NOTE」も好評を得ておりで作成した1万部はほぼ配布した。</p>

〔協働でできることの進捗〕

<p>町の魅力を発掘したり、発信することは、町民や葉山町を訪れる人でもSNSを使い出来る時代となっている。</p>

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

① 課等名		産業振興課
② 基本理念区分	3	活力を創造する
③ 基本目標	9	地域の魅力が住んでいる人や訪れる人を惹きつけているまち
④ 施策分野の将来像	18	葉山の魅力が十分に発信され、ゆったりとした時間が流れるような観光スタイルが整っている
⑤ 基本施策	31	観光の振興

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

葉山の何気ない街並みや自然からくる、ゆったりとした雰囲気は、町民が葉山を選んで住んでいる大きな要因で、このようなシチュエーションを観光客にも提供することが葉山の観光だと考える。こうした葉山に期待するブランドイメージを阻害する、住宅地へのゴミの不法投棄や、葉山の観光を代表する海水浴場の風紀の悪化について対策をとっている。

まず、住宅地へのゴミの不法投棄については、海水浴場期間における、海岸ゴミの回収する仕組みを作ることで、背後住宅地への不法投棄の軽減を図った。

次に海水浴場については、逗子市、鎌倉市と連携し、ラジオやキャンペーンサイトなどをつかった広域的なPRをするとともに、現地（海水浴場）においてマナーアップ推進員や掲示物によるマナーアップの周知を図っている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
町内で行われるイベントの来場者数	99,226人	58,835人	104,000人	①当該指標は、産業振興課が把握している後援事業等のため、他課で承認されたイベントが含まれていないなど、適切な数となっていない。 ②参加人数は、天候等に左右されるので、増減幅が大きく基本目標を図る指標として不適切。

〔単位施策の達成状況〕

31-01	地域資源の魅力化・ネットワーク化	
達成状況	進んでいない	町内を回遊できるしくみづくりについては、道路状況などを踏まえ安全が確保できる状況となっていない。特に自転車については、列なって走る状況が危険との指摘を受けている。
31-02	観光PRの推進	
達成状況	進んでいる	葉山のブランドイメージに期待する来訪者が長期的に訪れ続けられる持続可能な観光を目指し、ゴミ問題や風紀の乱れなどのイメージダウンに繋がる問題についての啓発を行っている。

〔協働でできることの進捗〕

- ・トイレの外壁の塗装について、町内に寮がある大学の学生等の協力を得て実施した。
- ・仙元山の整備について、かざはや商店会の協力を得て、さくらの植樹等を行った。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名		政策課
②	基本理念区分	4	みんなでつくる
③	基本目標	10	町民と行政の中にお互いを支えあう関係や情報の連携ができているまち
④	施策分野の将来像	19	豊かな地域社会が形成されていて、町民自ら主体的に地域課題の解決に取り組んでいる
⑤	基本施策	32	広報・広聴活動の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

広報はやまについては、特集などを工夫し、全国で表彰されている。
また、ホームページについても業者に更新を依頼していたものを職員が更新できるようにし、即時に情報を更新できるようになった。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
町ホームページのアクセス件数	302,846件	1,904,606件	420,000件	
広報紙未配布件数	182件	68件	0件	

〔単位施策の達成状況〕

32-01	情報発信による町民と行政のコミュニケーション強化	
達成状況	進んでいる	<p>広報紙については特集記事の工夫をこらし、全国で表彰されるようになった。また、ホームページの更新についても職員が更新できるようになり即時に情報を提供できるようになった。</p>
32-02	広聴活動の充実	
達成状況	進んでいる	<p>町への提案のほか、ホームページにも問合せフォームをつくり、いつでも町へ問合せができるようになった。また、町内会・自治会の会長と様々な課題について検討する場を設けることができた。</p>

〔協働でできることの進捗〕

<p>町内会・自治会との連携を密にすることにより、町内の課題について共有することができた。</p>

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	政策課
②	基本理念区分	4
③	基本目標	10
④	施策分野の将来像	19
⑤	基本施策	33

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

<p>協働のまちづくり指針を策定し、町内会をはじめとした団体のほか、町民と協働による事業を推進している。</p>
--

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
NPO法人まちづくり協会の登録活動団体数	33団体	32団体	37団体	
地域まちづくり活動に参加している又は参加したいと思っている人の割合	37.1%	—	65.0%	

〔単位施策の達成状況〕

33-01	協働推進のしくみづくり	
達成状況	進んでいる	平成29年に協働のまちづくり指針を策定し、職員に対して協働について研修を行っている。
33-02	非営利・公益的な活動への参加促進	
達成状況	進んでいる	まちづくり協会と協力して様々な団体の活動をサポートした。
33-03	空き家の有効活用	
達成状況	進んでいない	空家の有効活用について、所有者の意向などもあり進んでいない。

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	政策課
②	基本理念区分	4
③	基本目標	10
④	施策分野の将来像	19
⑤	基本施策	34

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

町内会・自治会とは、町内会連合会の中で「環境」「福祉」「防犯・防災」「新たな取り組み」などのテーマごとの部会を設置し、様々な課題について研究・検討する中で町内の課題を共有するとともに課題解決に向け協働して取り組んでいる。

また、町内会・自治会と協働で「きれいな資源ステーションプロジェクト」を行った。一方、町内会・自治会の役員の高齢化、なり手不足や加入率の低下などコミュニティーを維持していくことも今後課題となる。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
町内(自治)会加入率	75%	75%	100%	

〔単位施策の達成状況〕

34-01	地域コミュニティ活動への支援	
達成状況	進んでいる	町内会・自治会とは町内の様々な課題について共有し検討する場を設けることができた。

〔協働でできることの進捗〕

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名		政策課
②	基本理念区分	4	みんなでつくる
③	基本目標	11	町民の満足・納得度の高い行政サービスを常に提供しているまち
④	施策分野の将来像	20	職員の能力が最大限に発揮できていて、社会の変化にも柔軟に対応できる効率的な行財政運営が行われている
⑤	基本施策	35	計画的な行政の推進

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

総合計画の進捗管理として、毎年、実施計画の全課ヒアリングを実施し、公表することが定着した。これによりPDCAサイクルがしくみとして定着してきており、限られた経営資源で質の高い行政サービスを提供することに繋がってきている。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
行政運営に満足していない人の割合	30.0%	—	0.0%	

〔単位施策の達成状況〕

35-01	PDCAサイクルに基づく行政運営	
達成状況	進んでいる	PDCAサイクルに基づく進行管理は進んでいるが、これを更に進めていく。

〔協働でできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名		政策課
②	基本理念区分	4	みんなでつくる
③	基本目標	11	町民の満足・納得度の高い行政サービスを常に提供しているまち
④	施策分野の将来像	20	職員の能力が最大限に発揮できていて、社会の変化にも柔軟に対応できる効率的な行政運営が行われている
⑤	基本施策	36	行政組織の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

第四次総合計画を進めていくための機構改革を行った。更に効果的、効率的な行政運営を行っていくために絶えず注視していく必要がある。また、第五次総合計画を策定したときには、その目標体系に沿った組織の見直しを行う。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
縦割行政の不都合を感じたことのある町民の割合	30.0%	—	0.0%	

〔単位施策の達成状況〕

36-01	効果的・効率的な組織体制の整備	
達成状況	進んでいる	各課で抱える組織体制などの問題について、総合計画実施計画の振り返りのヒアリングを通じて確認し、共有を図っている。

〔協働のできることの進捗〕

--

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名		総務課
②	基本理念区分	4	みんなでつくる
③	基本目標	11	町民の満足・納得度の高い行政サービスを常に提供しているまち
④	施策分野の将来像	20	職員の能力が最大限に発揮できていて、社会の変化にも柔軟に対応できる効率的な行財政運営が行われている
⑤	基本施策	37	人材育成・人材管理の充実

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

人事評価制度について、平成25年度より管理職に対し試行、平成26年度及び平成27年度に全職員に対し試行、平成28年度より本格実施している。

人事評価制度については、毎年度、研修会や評価の見直しを実施し、人材育成に繋げるとともに最終的に効率的で満足度の高い行政サービスの提供に向け、取り組んでいる。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
職員待遇等満足度	56%	—	70%	
職員研修受講率・受講者数	175.8% (473人)	153.3% (443人)	250% (672人)	

〔単位施策の達成状況〕

37-01	人材育成の充実	
達成状況	進んでいる	<p>人事評価による業績目標を設定し、職員面談を年3回行うとともに、目標の実現に向け、人材育成に繋げる取組みを実施している。</p> <p>庁内研修、逗子市及び三浦市との共同研修、三浦半島4市1町による共同研修、湘南地区4町による共同研修、市町村研修センター等が実施する研修に企画、参加している。</p> <p>また、庁内講師のための研修にも参加しており、新採用研修等に活用している。</p>
37-02	適正な人事管理の推進	
達成状況	進んでいる	<p>平成28年度より人事評価を本格実施している。</p> <p>安全衛生委員会を開催し、職場安全点検の実施、ストレスチェックの運用に取り組んでいる。</p>

〔協働でできることの進捗〕

職員研修において、住民との協働の実状を理解するため、協働施策の主管課と共に町内会長に講師を依頼し、講義及びグループワークを実施している。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	財政課
②	基本理念区分	4
③	基本目標	11
④	施策分野の将来像	20
⑤	基本施策	38

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

歳入面においては、生産年齢人口の減少に伴い町税収入が減少していくことが見込まれる。
 歳出面では、年々増加している社会保障経費の増加に加え、複数の大規模事業（学校給食センター整備事業、クリーンセンター再整備事業、汚水処理施設整備計画（アクションプラン）推進に伴う整備事業）の実施、みんなの公共施設未来プロジェクトの推進等、複数年にわたり多額の費用を要する事業が控えている。

一方で、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が始まるなど扶助費の増加傾向に一層の拍車がかかる状況である。

こうした増大する財政需要に適切に対応しつつ、将来にわたり責任ある財政運営を行い、持続可能な財政構造を実現していく必要がある。

そのためには、「葉山町中期財政計画」（平成30年3月）に掲げた今後の財政運営の基本的な考え方や取組みの方向性を示した財政運営方針に沿った取組みを実践していく。なお、本計画については、令和2年度中に見直し作業を行う予定である。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
公共公益施設整備基金 残高	3.7億円	13.4億円	6億円以上	
町債残高（一般会計＋下 水道事業特別会計）	140.5億円	127.8億円	現状値以内	

〔単位施策の達成状況〕

38-01	財源の確保	
達成状況	/	
38-02	効果的・効率的な財政運営	
達成状況	進んでいる	<p>予算編成においては、限りある財源の中で、最少の経費で最大の効果を挙げるため、PDCAサイクルによる実施計画事業の振り返り結果等を活用し、効果的・効率的な財源配分に努めている。</p> <p>また、今後については、大規模事業の実施や公共施設等の老朽化・長寿命化対策等に向けて、基金や町債の有効活用も図りながら、極力将来に大きな財政負担が生じないような持続可能な財政運営を行っていく必要がある。</p>
38-03	分かりやすい財政状況の公表	
達成状況	進んでいる	<p>定期的な取組みとして、「予算及び決算の概要(イラスト付き)」、「補正予算の概要」「財政状況資料集(類似団体との比較分析が可能)」、「上半期・下半期ごとの財政状況」などの公表のほか、現在、新たな公会計基準に基づく資産台帳の整備や財務諸表の整備を図っている。</p> <p>また、30年3月には今後の大規模事業の実施等を踏まえた財政収支の見通しと、健全財政維持のための財政運営方針を定めた「中期財政計画」を策定・公表した。なお、本計画については、令和2年度中に見直し作業を行う予定である。</p>

〔協働のできることの進捗〕

町の財政状況に対する町民の関心度を高められるような分かりやすい資料の作成や、多くの町民の目に留まりやすい公表方法に努めている。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	公共施設課
②	基本理念区分	4 みんなでつくる
③	基本目標	11 町民の満足・納得度の高い行政サービスを常に提供しているまち
④	施策分野の将来像	20 職員の能力が最大限に発揮できていて、社会の変化にも柔軟に対応できる効率的な行財政運営が行われている
⑤	基本施策	39 公共施設の有効かつ適切な管理

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

公共施設の有効かつ適切な管理の実現、また、効率的な行財政運営についての公共施設及びインフラにおける実現には、必要な費用を投入することが不可欠であるが、一部公共施設及びインフラを除き、その費用の確保及び投入について十分に計画策定できたとはいえない状況である。

今年度、14施設の劣化診断調査を行ったところ、小中学校6校と他の公共施設8施設の劣化度はかなり高いと速報を受けたところである。

主要構造部の障害が著しく、緊急に補修等が必要である部分についても同時に把握したが、財政的な面から、すべてを緊急修繕できない状況にある。

また、緊急ではないが、今後30年間のライフサイクルコスト（以下「LCC」。建物の企画設計から解体処分に至るまでの全費用）に基づき着手すべき修繕・更新費用は総額309億円（年平均10.3億円）と算出しており、財政的に手当てが可能か早急に検討の上、公共施設の保有・保全の方針の策定を要する。

稼働状況調査を1年実施し、今後更なる分析は必要なものの、統計的に現状を把握できるに至った。

依然として、非効率且つ危険性の増す一方の公共施設等の管理から脱却できていないものの、劣化度や稼働状況を把握し、現実に即した対策を検討するための基礎的なデータを入手したところである。

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
(仮称)公共施設維持保全計画の策定	—	策定	策定	全公共施設の当初見積額又は予防保全的見地からの必要経費の総額/全公共施設の予算現額の総額(100%以下)又はFCI値
(仮称)公共施設再配置等計画の策定	—	策定	策定	同上

〔単位施策の達成状況〕

39-01	公共施設の計画的な維持保全の推進	
達成状況	進んでいる	<p>一部公共施設については第一次実施計画に則り維持保全を進めた。その他多くの公共施設については、予算抑制基調のため行われていない。</p> <p>今年度、14施設の劣化診断調査の実施とLCC把握等に基づき、第一次後期実施計画(案)を作成する。今年度劣化診断調査を行った14施設でのFCI値(残存不具合率。残存不具合額/建物復成価格)平均が51.29%であること、30年間のLCCが309億円(年平均10.3億円)であることから、保全方針や具体の計画策定に向けて大きく動く必要がある。</p>
39-02	公共施設の再配置の検討	
達成状況	進んでいる	<p>クリーンセンターについては、広域連携の一環で再配置が行われる。その他多くの公共施設については、予算抑制基調のため検討されていない。</p> <p>ただし、今年度劣化診断調査を行った14施設でのFCI値平均が51.29%であること、30年間のLCCが309億円(年平均10.3億円)であることから、保有方針策や具体の計画策定に向けて大きく動く必要がある。</p>

〔協働でできることの進捗〕

学識経験者及び有識者で構成する葉山町公共施設等総合管理計画策定委員会より、本町における公共施設等総合管理計画の策定及び実施について意見を頂戴した。

今後、保有・保全の方針策定及び同方針の具体化、又は公共施設等総合管理計画改定の際には、葉山町公共施設等総合管理計画策定委員会から意見を頂戴することが考えられる。

第四次葉山町総合計画基本計画（第1期）振り返りシート（令和元年10月末時点）

〔総合計画体系〕

①	課等名	政策課
②	基本理念区分	4 みんなでつくる
③	基本目標	11 町民の満足・納得度の高い行政サービスを常に提供しているまち
④	施策分野の将来像	20 職員の能力が最大限に発揮できていて、社会の変化にも柔軟に対応できる効率的な行財政運営が行われている
⑤	基本施策	40 県・他自治体との連携・協力

〔課題解決に向けて進み、めざす姿の実現に向けて進んでいるか〕

<p>消防指令業務やごみ処理の広域連携、三浦半島サミットなどで三浦半島圏域において他市と連携を図っている。 また、湘南地区町村会において、合同の職員研修を行っている。</p>

〔指標の達成状況と設定について〕

指標名	現状値 25年度	30年度	めざそう値 32年度	指標としての設定について
近隣市町村(三浦半島地域)と連携協力している取り組みの件数	14件	—	20件	

〔単位施策の達成状況〕

40-01	効果的な連携・協力の推進	
達成状況	進んでいる	ごみ処理で鎌倉市、逗子市と連携を図っているほか、三浦半島サミットでは4市1町で情報共有・連携を図っている。

〔協働でできることの進捗〕